

ENOKI

えのき

榎町地域センター まつり

日時

平成29年10月22日(日)

午前10時～午後4時

会場:榎町地域センター



主催 榎町地域センター管理運営委員会

協力 榎地区協議会・早稲田地区青少年育成委員会

*自転車・車でのご来場はご遠慮下さい。

「阪神淡路大震災」

を体験して



復興直接支援の会
「すみれ会」主宰
坪尻 光子

1995年1月17日。当時、大学生だった私は、宝塚に住み電車で毎朝、京都に通っていた。あの朝、布団の中でまどろんでいた私は、カタカタという微震とダンプカーが何台も近づいてくるようなゴーという地鳴りに体を固くした。ドーンと突き上がるような揺れ。すぐに、縦揺れとも横揺れともわからないほど激しく揺れが襲ってきた。

日本が沈むの？爆弾が落ちたの？体験したことのない揺れに、布団を被って小さく丸くなって長いながい時間。ようやく揺れが収まり、階下に行くと、本棚は倒れ、食器棚からは食器が飛び出し散乱していた。柱が傾き、ドアや窓の枠が歪み、一時家に閉じ込められた状態に。二階の窓がかるうじて開いたので、そこから外に出た。家は崩壊しなかったが、庭の土は隆起し道路には地割れがあった。少しづつ近所の人も出てきた。少し歩いて川沿いまで行くと、倒壊した家がいっつもあった。

電気、水道、ガスは使えず、電話も回線がパンク状態でもことも連絡が取れない状況に。呆然としている私たちに、戦争を経験した祖父は、「こんな時こそ、みんなで力を合わせて頑張ろう！」と声をかけた。余震の合間に、家の中にある水や食べ物を確認、その日は、何とか家で凌いだ。給水情報も乱れ、明日はどうか、その先の見通しはたまたまなかった。

翌日も余震が続く、家にいるのも不安なので、小学校の避難所へ向かった。体育館は人でごった返し、居場所を確保するのが精いっぱい、プライベートを確保する仕切りなどはもちろんない。パンなどの配給や給水車が来るたび、わっと人が押し寄せた。みんな生きるために必死だったし、夜はもちろん眠れなかった。地震3日後には電車が復旧したため、家族バラバラになり、親せきや知人のところにお世話になることにした。地震後初めて駅に歩いていく間に、景色の変貌に目を見張った。子どものころから見慣れた古い町が軒並み崩れていて、場所によりこんなにも被害が違うものかと愕然とした。

災害は予知できない。ずっと地震がなかった阪神地域にもこんなにも大きな地震がドンと来た。地震そのものの怖さと共に、その後から始まる「害」の大変さを痛感した。

*すみれ会とは東日本大震災をきっかけに個人で立ち上げたボランティアの会。現在は「身近な防災（防犯）から繋げる大きな平和」をモットーに活動している。

防災は身近なことからコツコツと

地域や街、地方全体の防災を考えると気が遠くなるのですが、まずは、もっとももっと身近なところから考え、コツコツと防災を心がけ、いざという時のために備えましょう！



震災を体験して伝えたいこと
地震はいつ起きるかわからない。
防災について話し合っておきましょう！

もしものときに備えよう！



大地震が起きてしまうと、電気、ガス、水道などが止まってしまう可能性があり、食品や日用品、薬なども入手困難な状況になるかもしれないので、最低でも3日分の備蓄をしよう！

たとえば・・・懐中電灯の電池は大丈夫かな・・・？⇒ ローリングストックがオススメ！

家の安全対策をしよう！



地震=避難ではなくて、家屋の倒壊や火災の心配がなければ、「家が一番安全な場所」であるよう対策をしよう！

たとえば、家の耐震補強は大丈夫かな・・・？家具の転倒防止は・・・？

まずは自分の身を自分で守ろう！



地震はいつ起きるかわかりません。いろいろなケースを考えて話し合ってみよう！

たとえば、外で遊んでいる時だったら・・・？お家で一人の時だったら・・・？

ローリングストックって何？

長期保存食ではなく、普段の食事で食べ慣れている保存食を備えておき、古いものから使用して、使ったらまた新しいものを備えておく方法。

※お風呂の残り湯も・・・生活用水として使えるので、次に入る時まで残しておく、いざという時に便利です。

防災は すみれのはな

す んでいるところ



家族・ご近所さん・マンション

み んながあつまる場所



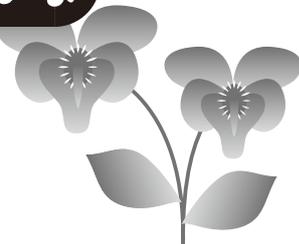
学校・会社・ビル
商業施設

れ んらくほうほうや
そなえについて



備蓄・避難場所

の はな し合おう



のんびり 歩こう会

～ 鉄道博物館へ
出発進行 ～

鉄道博物館（てっぽく）には鉄道創業期の蒸気機関車や大正、昭和のレトロな電車の実物車両が数多く展示されており、客車に入ることでもできません。実物の車両部品やジオラマで鉄道の原理や仕組みなどを体験的に学習することができる歴史博物館です。

午後からは近くの大宮公園を散策します。小動物園や二千年以上の歴史をもつ氷川神社があります。

● 日時

11月3日（祝）8時20分
山吹高校前集合

● 参加費

大人 1800円
小学生～高校生 200円
未就学児 無料



● 申込み

10月19日（木）まで
町会役員 育成委員
榎町特別出張所まで

TEL 03(32002)2461

* 詳細については、町会の掲示板のお知らせをご覧ください。

主催 早稲田地区青少年育成委員会
共催 榎町地区町会連合会
榎町特別出張所

小学校対抗 ドッジボール大会

毎年11月恒例の地区小学校対抗「ドッジボール大会」を催します。小学生低学年（一年生から三年生）と高学年（四年生から六年生）の部に分かれ、10名位のチームを編成して試合を行います。

今回の「ドッジボール大会」では、どこの学校のチームが優秀な成績を収めるでしょうか。ご家族の応援もよろしくお願いいたします。

● 日時

11月26日（日）9時～12時頃

● 会場

鶴巻小学校 体育館と校庭

* 雨天時は全試合を体育館で行います。

● 集合

鶴巻小児童は学校に8時30分
早稲田小・江戸川小・牛込仲之小児童は各学校に8時15分

● 対象

早稲田・鶴巻・江戸川・牛込
仲之小学校児童

● 申込み

11月15日（水）まで
各学校に申込みください。

* 詳細については、学校から配布されるお知らせをご覧ください。

主催 早稲田地区青少年育成委員会
榎町特別出張所

スポーツ交流 お知らせ

ユニカールと輪なげ

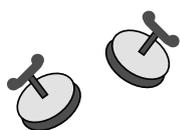
ユニカールは特殊カーペットの上で、ストーンを滑らすように投げ、円形の目標地点により近づけることを競うゲームです。

両チームがそれぞれ3個のストーンを目標地点に向かって交互に滑らせて相手のチームのストーンを弾き飛ばし、自分のストーンを目標に近づけます。

初めての方でも気軽にできます。

● 日時

- ① 11月5日（日）
- ② 11月19日（日）
- ③ 12月3日（日）
- ④ 12月24日（日）
- ⑤ 1月7日（日）
- ⑥ 1月21日（日）
- ①～⑥ 10時～12時



● 会場

榎町地域センター
4階多目的ホール

* 事前の申込みは必要ありません。

当日、会場にて参加を受け付けます。
運動のしやすい服装で上ばきを持参ください。

問合せ 黒川 孔晴

TEL 03(3268)1777
主催 わせだスポーツ・文化協議会

「秋から冬まで」の作品募集

榎町地域センターでは、館内展示用として秋から冬までの地域の写真、絵画、切り絵等の作品を募集しています。皆様がこれまでに撮影又は作成をした地域の作品をぜひお寄せください。

サイズ 概ねA4からA1くらいまで

提出方法 額縁に入れ、撮影者又は作成者、タイトル、場所をご記入の上、榎町地域センター2階事務局までお持ちください。

提出期限 平成29年11月30日まで

展示期間 提出後概ね2週間から1か月間くらいまで

展示場所 榎町地域センター

留意事項

● 作品は丁寧に扱いますが、万が一破損等した場合であっても、責任は負いかねますので、提出に当たっては、この点ご留意ください。

● 作品の内容によっては、展示をお断りさせていただく場合がございます。

● 提出数に上限はございませんが、より多くの方の作品を展示したいと考えておりますので、あらかじめご了承ください。
● 提出いただいた作品は、展示期間終了後、お返しいたします。

● 作品の時代は問いません。昔日の榎町地区の様子分かる作品があればぜひお持ちください。

子ども防災キャンプ

早稲田地区
青少年育成委員会

7月9日(日)、地域の子どもたち38名が「子ども防災キャンプ」に参加して、防災訓練を行いました。

牛込消防署早稲田出張所では消防車に乗り、消防服を着用、装備の重たいポンペを背負い消防出動を体験しました。

鶴巻南公園にて、水消火器、D級消火ポンプの扱い方を学び消火訓練を行い、ポンプ式浄水器を使って飲める水を作りました。

鶴巻南公園地下の応急給水施設を見学して災害時には簡易水道で貯蔵された水を供給できることを知りました。また、地震車に乗って震度6強の地震を体験、身を守る方法を学びました。

鶴巻小学校に移動して119番通報の訓練、AEDの使い方を教えてもらいました。また、牛込警察署の署員から夏休みを安全に過ごすための防犯の心得を学びました。昼食には、災害時に食するアルファ米を試食しました。

災害が起きたときに、必要なことの多くを学び、体験する一日でした。



牛込二中えんにち

早稲田地区
青少年育成委員会

8月20日(日)、夏休み恒例の「牛込二中えんにち」牛込第二中学校にて催しました。牛込第二中学校生徒の有志が地域の子どもたちを楽しんでもらおうと「夏の縁日」を企画し、実施したものです。

かき氷やポップコーン、ホットケーキ、ソーセージの模擬店が縁日の雰囲気盛り上げました。また、輪投げやペットボトルのボーリング、ヨーヨー釣りなどの遊びにも人気がありました。夏休みの手作り体験ではブンブン駒を作り、絵を描いてオリジナルの駒ができました。将棋やトランプ、オセロゲームにも人が集まり、子どもも大人も一緒に楽しみました。

牛込第二中学校の生徒たちは毎年、地域の方、子どもたちとの交流を目的に「牛込二中えんにち」と「昔あそび・もちもちの会」を自主的にを行っています。企画から実施まで何回も打ち合わせを行い、ポスター作りから道具の調達など、時間をかけ準備をしています。来年3月中旬に「昔遊あそび・もちもちの会」でお餅つきを行います。地域の皆さんのお越しをお待ちしています。



バケツで米作り体験授業

江戸川小学校5年生は、総合的な学習の時間「米」をテーマに学習を進めています。

米作り体験をこの都会の中で行うのはとても難しいことです。江戸川小学校では、毎年バケツで稲を育て、米を収穫しています。

「米」をテーマとして取り上げる魅力は、体験活動を通じた学習展開ができること、「米」から、食文化・環境・農業問題・人・地域・・・といった子供たち自ら課題を発見し、追究していくことができること、学習した内容を体験活動の中で応用

でき、さらに学力を高めていくことなどがあげられます。

本校の5年生も、土づくり・

田植えの体験・稲の観察を通して、田作りの大変さや水の管理、秋まで順調に成長するのかなど農家の方の不安や苦勞、

日々の観察の中で稲の葉の色の変化や、根の張り方などさまざまな気付きがありました。この気付きを課題とし、調べたり追求したりすることができました。収穫を迎えると、小さな稲がお茶碗1杯分の米になるという成長の度合いに驚きます。また農家の方が収穫を迎えるま

での気持ちを考え理解することもできます。収穫したお米を味わう会では、お米を大切に扱う気持ちも生まれてきます。米の収穫量はわずかですが、学習の成果としては大きな収穫量となっています。

この活動では、本校「花とみどりのボランティア」の皆さんの、夏休み中の水やり協力が成長の支えとなっています。収穫したお米を味わう会には、ボランティアの方も多数参加してくださいます。地域の方とのつながりを深めるよいひとコマとなっています。



子どもまつり



8月26日(土)PTA主催の早稲田小子どもまつりが開催されました。子どもまつりは「空き缶積み」「ペットボトルボーリング」「輪投げ」「射的」「スパーボールすくい」の5種目に加え、関連団体による「ストラックアウト」「かき氷」「ポップコーン」と盛り沢山の内容です。

各ゲーム毎に景品が用意されており、希望の景品をゲットするため必死に頑張る子どもたちの歓喜やため息が会場中に響き渡り、祭りの盛り上がりを感じることができました。

私は「空き缶積み」の担当でした。このゲームは大きさの違う空き缶

を10秒以内に何個積めるかを競うものです。コツはできるだけ同じ大きさの缶を慎重に重ねていくことです。初めに挑戦する子どもたちには難しく、なかなか上手く重ねられません。スタートに出遅れる子、慌てて缶を倒してしまう子、隣の子が倒した缶に巻き込まれ一緒に倒されてしまう子・・・など、地味なゲームながらも人生の機微を感じました(笑)。

今回は最高気温32度を超える暑い日となりましたが、281名の子どもたちが参加し、大盛況のうちには終了しました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



夏目漱石の句碑を建立、除幕式が挙行さる

喜久井町で生まれ育ち、晩年東京帝国大学の英語講師を辞して朝日新聞に入社、専業作家となり、早稲田南町に居を構え、『三四郎』『こころ』など多くのすぐれた文学作品を世に送り出し、四十九歳の若さで亡くなった漱石は、二千首以上の俳句を残した俳人でもあった。東京帝国大学の学生時代に同級生であった正岡子規と親交を結び、漱石は子規から俳句を学び、子規は漱石から英語の指導を受けたという。漱石が松山中学の英語教師だった時に、日清戦争の従軍記者だった子規が、負傷して帰国、漱石の下宿「愚陀仏庵」に転がり込み五十二日間毎晩句会を開いたことや漱石がロンドン留学中に子規の訃報に接し、漱石が号泣したというエピソードもある。

松山市並びにその周辺には多くの漱石の句碑が設置され、市民から大事にされている。



ところが新宿区内はおろか東京都内には漱石の句碑は存在しない。そこでNPO法人漱石山房は、漱石生誕百五十年記念事業として句碑を建立することを計画しこの度完成しお披露目した。

建立場所は、新宿区が漱石生誕百年事業で建立した「夏目漱石生誕の地」の石碑(喜久井町1番地の直ぐ脇で、縦五十センチ、幅三十センチ、厚さ三センチの黒御影石に「影参差 松三本の月夜かな 漱石」と高端正直氏(新宿書道連盟理事)の書を彫刻した。白御影の台座には、この句の出典である『硝子戸の中』の一部が記載された説明版が取り付けてある。

句碑の除幕式は9月3日午後2時から行われた。心配された台風が反れ、好天気となり、約70名の方が見守る中、吉住新宿区区长、漱石ゆかりの方、地域代表など6名により幕が引かれた。区長の挨拶の後、場所を第2会場に移し、長島裕子氏(早稲田大学講師)による『硝子戸の中』の背景と題した講演、金子榎町特別出張所所長による乾杯の後、漱石グッズが当たる「漱石流福引大会」で盛り上がり午後4時お開きとなった。

今後この句碑を地域の宝として地域の皆さんと一緒に大事に見守っていきましょ。

高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします

1 平成29年度牛込地区高連 福祉演芸大会

平成29年6月13日(火)新宿区牛込笹筒区民センターにおいて開催され、牛込地区のクラブおよび地域交流館から24組が参加しました。

榎地区からは次のクラブが参加し、日頃の練習の成果を披露しました。(出演順)

- ・リズム体操 あかぎ友の会10名
- ・フォークダンス 原一あゆみ会10名

- ・合唱 水の原クラブ8名、弁天町和老クラブ13名、柳町すみれ会12名、山吹会5名、薬王寺長寿会14名、第一・第二友鶴会11名、早稲田長寿会6名、早稲田永楽会13名、西鶴クラブ10名、

2 平成29年度牛込地区 輪投げ大会

平成29年6月4日(日)鶴巻小学校体育館において、参加26チームで開催された輪投げ大会に、榎地区の次の高齢者クラブが参加しました。

成績は、第3位榎町友の会(314点)、第5位早南クラブ(244点)、第6位あかぎ友の会(223点)が上位に入賞しました。おめでとございます。

他の参加クラブは次のとおりです。(成績順)

- ・山吹会、早稲田クラブ、早稲田永楽会、早稲田長寿会、原二わらく会、薬王寺長寿会、牛込心友会、弁天町和老クラブ、第二友鶴会、第一友鶴会、柳町すみれ会、原一あゆみ会。

3 平成29年度区高連「囲碁大会」の成績

平成29年7月16日(日)に開催された第57回囲碁大会において、榎地区の次の方が上位に入賞されました。おめでとございます。(敬称略)

Aクラス

準優勝 山住 市郎 六段(水の原クラブ)

(以上、資料提供:牛込地区高齢者クラブ連合会)

榎町地域センターまつり

榎町地域センターは、地域の皆様のご支援のおかげで16年目を迎える事が出来ました。今回の地域センターまつりも、皆様楽しんでいただけるような催しをたくさんご用意しています。ご来場を心よりお待ちしております。

いつも、皆様楽しんでいただけるような催しをたくさんご用意しています。ご来場を心よりお待ちしております。

登録団体の皆様へ 団体登録の 更新手続きを お願いします

いつも榎町地域センターをご利用いただきありがとうございます。ご確認ください。

現在の団体登録の有効期限は平成30年3月31日です。平成30年4月以降も引き続き地域センターをご利用いただく場合は改めて登録の手続きをしていただく必要があります。

つきましては左記の書類を平成29年11月24日(金)《厳守》までに榎町地域センター12階事務局までご提出ください。

なお更新手続きのできる方は各団体の代表者(NPO法人の方は連絡担当者でも可)の方となります。手続きの際に新宿区内に住所を有することを証明できる書類(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください。

【提出書類】

- ① 団体登録申請書
- ② 団体の規約、定款等
- ③ 会員名簿

【問合せ】

榎町地域センター
管理運営委員会事務局
☎(3202)8585

地域センターからのお知らせ

○年忘れカラオケ大会

日時…12月23日(土)

午前10時～午後4時

会場…榎町地域センター

4階 多目的ホール

参加費…300円

募集…72名

申込み…11月25日(土)

午後1時より榎町地域センター

4階 多目的ホールにて

受付

*申込書は10月26日(木)より榎町地域センター12階事務局にて配布します。

○新春えのき寄席

会場…榎町地域センター

日時…平成30年1月21日(日)

午後3時～5時(予定)

4階 多目的ホール

定員…120名

出演…未定(ご期待下さい。)

*チケットは12月上旬より榎町地域センター2階受付にて販売予定です。

問合せ…榎町地域センター事務局

Tel (3202)8585

2階

指庄・建物耐震
防災グッズ展示
WEバスPR・お茶席
日赤・地区協パネル展示
えのき文芸展示

1階

沼田市物産販売・野菜販売
肉まん・花鉢販売
焼き菓子販売
模擬店出店

地下1階

模擬店販売・休息所
ゲームコーナー
包丁研ぎ・子ども工作教室
リフォーム相談
育成会パネル展示

3階

子ども遊びコーナー
おもちゃ病院
手作りコーナー
健康チェック
ごみ分別エコクイズ

4階 多目的ホール

オープニングセレモニー・和太鼓
夏目漱石暗唱コンクール表彰式
子ども達・登録団体のダンス
舞踊・合唱
ビンゴゲーム大会

日時…10月22日(日)
午前10時～午後4時
会場…榎町地域センター(全館)

えのき文芸



牛込に城ありしとか蝉時雨

青木 久彌

ブックオフちよつと寄り道秋の風

大籠 紀子

いただける残暑見舞に絵ほおずき

飯田 もと子

佐渡ヶ島秋の日を浴び日本海

加藤 理君

虫を聴く焼味噌かほる宿坊に

金澤 誠

台風来読書三昧一日過ぐ

軽部 とみ子

坂の下灯りそめて涼新た

川口 あきを

目薬をさし源氏読む秋灯

北野 明治

薄野の穂波に燃ゆる茜空

北村 妙子

珈琲を味はふ気分今朝の秋

木村 かづこ

山並の紅葉めでし野天風呂

久根下 和子

黒揚羽日々草に触れて過ぐ

菅原 美智子

育ちつつコース定めて野分来る

梨平 美沙子

少しづつみんなわがまま秋桜

原 綾

秋暑し床の母の手こもる熱

水上 香子

短歌

金色に光る神輿が数十基

消火栓の放水に舞ふ

青木 久彌

茅葺きと土間の広さの宿に来て

蕎麦打つ人のやさしさに逢う

加藤千代子

大戦と大災害見舞はるる

大君の祈り天に届かむ

金澤 誠

線香の花火を囲む幼児らの

かがむ姿を火花が照らす

金城 光祥

川柳

ロボットに宿題やらせゲームする

おじいちゃん孫に手引かれ飴買いに

菅野あきら

秋の花

モミジ(紅葉)

都内の公園 お庭、神社の境内は秋も深まる
と雪囲が松には映えて、紅葉もことさらに美しくなる。秋の散策を楽しんで下さい。

少しでも夢に届けとする背伸び
懐メロを聴きしみじみと想う過去

小山 一湖

小糠雨蟋蟀急に踊りだす

夏休み五ツなつたよプチトマト

田実 孜



広報部からのお知らせ

「家族の肖像」一技の伝承」の企画記事に登場いただける方の情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は『冬』、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、12月10日(日)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
TEL (3202) 85855
FAX (3202) 2478